

第二期兵庫県地域創生戦略  
実施状況報告書  
(令和3年度)

令和4年9月

兵 庫 県

## 〈目 次〉

I	はじめに	1
II	戦略目標の達成状況(まとめ)	3
III	実施状況(令和3年度)	
1	地域の元気づくり	4
	幅広い産業が元気な兵庫をつくる	
	内外との交流が活力を生む兵庫をつくる	
	豊かな文化が息づき、安全安心でにぎわいあふれる兵庫をつくる	
2	社会増対策	20
	自分らしく働ける兵庫をつくる	
3	自然増対策(子ども・子育て対策)	27
	結婚から子育てまで希望が叶う兵庫をつくる	
4	自然増対策(健康長寿対策)	33
	生涯元気に活躍できる兵庫をつくる	

## I はじめに

○ 本県では、地域創生を県政の基本政策に位置付け、継続的に取り組む姿勢を明らかにするため、平成 27 年 3 月、全国に先駆け、地域創生の基本理念やその実現に向けた戦略の策定など県の責務を定めた「兵庫県地域創生条例」を制定した。

○ 条例に基づき、平成 27 年 10 月、5 年間で取り組むべき対策とその目標を定めた「兵庫県地域創生戦略（2015-2019 年度）」（以下、第一期戦略）を策定、第一期戦略の評価検証等を踏まえ、「第二期兵庫県地域創生戦略（2020-2024 年度）」（以下、第二期戦略）を策定した。

この戦略の推進を図るため、年度単位で、施策・事業毎の K P I（重要業績評価指標）※の進捗状況を管理するアクション・プランを取りまとめ、関連の施策・事業を推進している。

※ Key Performance Indicators：重要業績評価指標。施策ごとの進捗状況を点検・検証するために設定する指標。

○ 本書は条例に基づき、令和 3 年度の実施状況について報告するものとする。

【図表 評価指標の体系(令和3年度)】

戦略目標	戦略指標	重点目標	重点指標	政策項目	主な項目		
(ひと・まち・産業) 元気づくりプログラム I 地域の元気づくり	■一人当たり県内総生産(GDP)の伸び ■住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思う人の割合	1幅広い産業が元気づけられる兵庫をつくる	■製造品付加価値額	I-1兵庫の強みを活かした産業競争力の強化	・次世代産業の創出 ・ものづくり産業の経営基盤・技術開発の促進 ・Society5.0を牽引する産業の集積促進 ・デジタル化の本格的推進		
			■対事業所サービス事業所数 ■企業立地件数	I-2地域産業の振興	・地域の中小企業の経営基盤強化 ・地域産業の新たな展開への支援 ・商業業務機能の集積促進		
			■開業率	I-3企業立地・投資の促進	・雇用拡大につながる企業誘致の促進 ・世界から選ばれる投資環境の整備		
			■農林水産業産出額	I-4起業・創業の適地ひょうごの実現	・有望な起業家の成長支援 ・多様な主体による起業・創業の更なる支援		
				I-5農林水産業の基幹産業化の推進	・農業の経営基盤の強化 ・収益性の高い林業の推進 ・水産業の経営強化 ・兵庫の農林水産物のブランド力強化		
		2内外との交流が活力を生む兵庫をつくる	■県内観光入込客数 ■県内観光消費額 ■宿泊者数(延べ人数)	■来訪者満足度 ■リピーター率(再訪意向率) ■一日当たり県内来訪者数	I-6地域資源を活かした交流人口の拡大	・県内外からの誘客促進 ・国際ツーリズムの促進 ・観光客受入基盤の整備	
				■住んでいる地域は、芸術文化に接する機会があると思う人の割合 ■住んでいる地域が自然災害に対して「安全」「まあ安全」だと思ふ人の割合	I-7定住人口・関係人口の創出・拡大	・二地域居住・都市農村交流の促進 ・地域再生大作戦の展開 ・地域特性に応じた空き家等の有効活用	
					I-8交流を支える交通基盤の充実	・交流を支える交通基盤の充実	
		3豊かな文化が息づく、安全安心でにぎわいあふれる兵庫をつくる	■住んでいる地域は、芸術文化に接する機会があると思う人の割合 ■住んでいる地域が自然災害に対して「安全」「まあ安全」だと思ふ人の割合 ■英語力を有すると思われる生徒の割合 ■将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 ■将来の生き方や職業について考え、それを実現するために努力している生徒の割合	■住んでいる地域の自然環境は守られていると思ふ人の割合	I-9豊かな文化が息づく、にぎわいあふれる地域づくり	・芸術文化が身近に感じられる地域づくり ・にぎわいが感じられるまちづくりの推進 ・豊かな環境の保全と創造	
					■住んでいる地域は、高齢者にも、障害のある人にも暮らしやすいと思ふ人の割合	I-10安全安心で、快適に暮らせる地域づくり	・安全安心に暮らせる福祉・医療の充実 ・防災・減災対策の総合的推進 ・地域生活を維持する革新的技術の普及促進
				■英語力を有すると思われる生徒の割合 ■将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 ■将来の生き方や職業について考え、それを実現するために努力している生徒の割合		■住んでいる地域は、高齢者にも、障害のある人にも暮らしやすいと思ふ人の割合	I-11次代の人材が育ち、誰もが力を発揮できる地域づくり
(社会減ゼロプログラム) II 社会増対策	■日本人の転入超過数 ■20歳代前半の若者定着率 ■外国人の増加数	■20～30歳代の若者の転入超過数(日本人) ■新たに農業・林業・漁業に就いた者の数	II-1地元就業の促進	・県内就業意識の高揚 ・地元企業との若者のマッチング強化 ・女性活躍の推進			
			II-2UJIターの促進	・第二新卒者等、若年層のUJIターの支援 ・かみUJIターセンターを核とした移住・定住の促進			
			II-3外国人材の活躍推進	・高度外国人材の受け入れ促進 ・外国人材の県内定着の促進(再掲)			
(婚姻数拡大プログラム) III 自然増対策	■合計特殊出生率 ■婚姻件数	■結婚願望がある者の割合 ■住んでいる地域では子育てがしやすいと思ふ人の割合	III-1結婚のきっかけづくり	・出会い・結婚支援の充実 ・結婚や子育てが楽しいと思える意識の醸成			
			III-2安心して子どもを産み育てられる環境の整備	・妊娠・出産の不安解消 ・子育てや教育に係る負担の軽減			
			III-3子育て応援社会の形成	・放課後等の居場所づくり ・子育て家庭を見守る地域づくり			
(健康寿命延伸プログラム) IV 自然増対策	■平均寿命と健康寿命の差 ■運動を継続している人の割合	■がんによる75歳未満の年齢調整死亡率 ■朝食を食べる人の割合 ■認知症相談医療機関の登録数の拡大 ■75歳以上人口に占める要介護認定率	IV-1健康づくりの推進	・疾病の予防・早期発見・早期治療の推進 ・生活習慣の改善促進			
			IV-2高齢者等誰もが安心して暮らせる環境整備	・認知症対策の推進 ・高齢者の地域生活を支える体制の強化			
			IV-3元気高齢者の社会参加の促進	・元気高齢者の社会参加の促進 ・定年退職後の高齢者の就業機会確保 ・高齢者の生涯学習支援			

## II 戦略目標の達成状況(まとめ)

目 標	実 績	
	令和3年	
<b>1 地域の元気づくり</b> ①国を上回る一人あたり県内総生産(GDP)の伸びを維持(H25比)	国を上回る伸びの維持	<b>【実質】</b> ・国 102.5<県 106.8 <b>【名目】</b> ・国 107.3<県 109.3
②住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思う人の割合について毎年度前年を上回る	前年度(75.9%)を上回る	75.9%
<b>2 社会増対策</b> ①2024年までに日本人社会減ゼロを目指す 日本人の転入超過数±0	▲2,669人	( ▲6,220人 (▲5,344人) 上段：国内移動のみ (下段：国際移動含む) ※国勢調査結果が未公表のため、R3住民基本台帳人口移動報告
②20歳代の若者定着93.0%を目指す	92.4%	91.5%
③5年間で25,000人の外国人の増加を目指す	10,000人	( 4,126人) ※国勢調査結果が未公表のため、R3住民基本台帳人口移動報告
<b>3 自然増対策(子ども・子育て対策)</b> ①2024年まで合計特殊出生率1.41を維持する	1.41	1.36
②結婚したいという希望を叶え、2024年に婚姻数27,000件を目指す	25,500件	20,938件
<b>4 自然増対策(健康長寿)</b> ①平均寿命と健康寿命の差を縮める 男性：1.40未満 女性：3.13未満	—	( 参考：令和元年 男性：1.48 女性：3.20 )
②運動を継続している人の割合を高める 75.0%	75.0%	63.0%

※ K P I の評価は、目標値に対する実績値の達成率により「A」「B」「C」「D」に区分  
 A:100%以上、B:90%以上100%未満、C:70%以上90%未満、D:70%未満

※R3 実績が未判明の指標は評価せず

	A		B		C		D		未判明		合計	
戦略指標	1項目	11.1%	3項目	33.4%	2項目	22.2%	2項目	22.2%	1項目	11.1%	9項目	100.0%
重点指標	6項目	18.8%	7項目	21.9%	1項目	3.1%	4項目	12.5%	14項目	43.7%	32項目	100.0%
政策アウトカム指標	24項目	27.6%	13項目	15.0%	8項目	9.2%	13項目	14.9%	29項目	33.3%	87項目	100.0%
合計	31項目	24.2%	23項目	18.0%	11項目	8.6%	19項目	14.8%	44項目	34.4%	128項目	100.0%

### Ⅲ 実施状況(令和3年度)

## 戦略1 地域の元気づくり(ひと・まち・産業 元気プログラム)

#### 1 目標

- ①国を上回る一人当たり県内総生産(GDP)の伸びを維持する
- ②住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思う人の割合について  
毎年度、前年を上回る

#### 2 達成状況

戦略指標	単位	区分	(参考) R1	計画期間	
				R2	R3
1 県民一人当たり県内総生産(GDP)の伸び	%	目標	—	国を上回る 伸びの維持	国を上回る 伸びの維持
		実績	[実質] 国104.2 県106.1 [名目] 国109.4 県110.4	[実質] 国99.8 県103.1 [名目] 国105.5 県108.3	[実質] 国102.5 県106.8 [名目] 国107.3 県109.3
		評価	—	—/A	—/A
2 住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思う人の割合	%	目標	—	前年度を上回る	前年度を上回る
		実績	77.9	75.9	75.9
		評価	—	97.3%/B	99.9%/B

※【目標値達成率に対する評価】

A : 100%以上、B : 90%以上 100%未満、C : 70%以上 90%未満、D : 70%未満

〈状況分析〉

- ・一人当たり実質 GDP の伸びは、令和2年度から改善。県が国の伸びを上回った。
- ・令和3年度は「製造業」「卸売・小売業」で回復し、県全体では3.7ポイント増加。県は国に比べて製造業が占める割合が高いことから、国を上回る GDP の伸びにつながっている。
- ・住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思う人の割合は、昨年と同ポイントで概ね目標を達成した。

#### 3 今後の取組方向

- 次世代産業や地場産業の振興による産業競争力の強化や、起業・創業を促進する環境整備
- 県内の地域資源を生かし、SDGs を推進する体験型・周遊滞在型プログラムの設定など、大阪・関西万博を見据えたフィールドパビリオンの展開
- まちなのにぎわいづくりの創出や、持続可能なコミュニティづくりの推進

【図表 県内総生産(実質GDP)の推移】

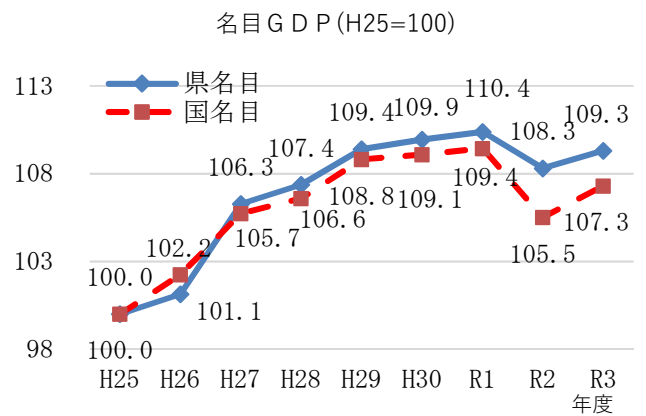
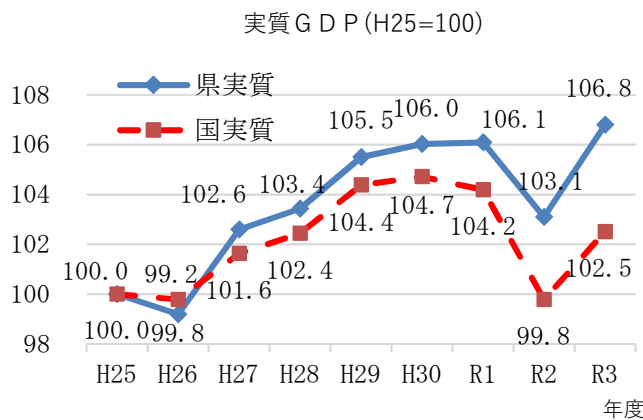
項目	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
全国一人当たりGDP	418 万円	417 万円	424 万円	428 万円	436 万円	437 万円	435 万円	417 万円	428 万円
<H25=100とした指数>	<100.0>	<99.8>	<101.6>	<102.4>	<104.4>	<104.7>	<104.2>	<99.8>	<102.5>
全国GDP(実質)	532.1 兆円	530.2 兆円	539.4 兆円	543.5 兆円	553.2 兆円	554.3 兆円	550.6 兆円	525.7 兆円	637.4 兆円
県一人当たりGDP	380 万円	377 万円	390 万円	393 万円	401 万円	403 万円	403 万円	392 万円	406 万円
<H25=100とした指数>	<100.0>	<99.2>	<102.6>	<103.4>	<105.5>	<106.0>	<106.1>	<103.1>	<106.8>
県内総生産(GDP)(実質)	21.1 兆円	20.9 兆円	21.6 兆円	21.7 兆円	22.1 兆円	22.2 兆円	22.1 兆円	21.4 兆円	22.0 兆円

【図表 県内総生産(名目GDP)の推移】

項目	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
全国一人当たりGDP	402 万円	411 万円	425 万円	429 万円	438 万円	439 万円	440 万円	425 万円	432 万円
<H25=100とした指数>	<100.0>	<102.2>	<105.7>	<106.6>	<108.8>	<109.1>	<109.4>	<105.5>	<107.3>
全国GDP(名目)	512.7 兆円	523.4 兆円	540.7 兆円	544.8 兆円	555.7 兆円	556.3 兆円	557.3 兆円	535.5 兆円	541.8 兆円
県一人当たりGDP	366 万円	371 万円	389 万円	393 万円	401 万円	403 万円	404 万円	397 万円	401 万円
<H25=100とした指数>	<100.0>	<101.1>	<106.3>	<107.4>	<109.4>	<109.9>	<110.4>	<108.3>	<109.3>
県内総生産(GDP)(名目)	20.4 兆円	20.6 兆円	21.6 兆円	21.7 兆円	22.1 兆円	22.2 兆円	22.2 兆円	21.7 兆円	21.8 兆円

注) 県実績については、平成25～令和元年度は県統計課「令和元年度兵庫県民経済計算」による確報値、令和2～3年度は県統計課「四半期別兵庫県内GDP速報」による速報値。全国実績については、平成25年度～令和2年度は「2020年度国民経済計算」による確報値、令和3年度は内閣府「四半期別GDP速報」による。

【一人当たりGDPの伸び推移(平成25年度=100)】



## 重点目標 1 幅広い産業が元気な産業をつくる

重点指標		単位	区分	(参考) R1	計画期間	
					R2	R3
1	開業率	全国 順位	目標	—	10位以内	10位以内
			実績	9位 4.51%	11位 5.17%	(R4.10月) <sup>※2</sup>
			評価	—	99.2%/B (10位県5.21%)	—
2	企業立地件数	件 ⑳～累計	目標	—	1,094	1,281
			実績	894	1,051	1,262
			評価	—	96.1%/B	98.5%/B
3	農林水産業算出額	億円	目標	—	2,571	2,619
			実績	2,588	(R4.12月)	(R5.8月)
			評価	—	—	—
4	製造品付加価値額	億円	目標	—	51,283	51,795
			実績	50,786	(R5.3月)	(R6.3月)
			評価	—	—	—
5	対事業所サービス事業 所数 <sup>※1</sup>	社	目標	—	—	前回調査 を上回る
			実績	⑳1,085	—	(R5.3月)
			評価	—	—	—

※1 対事業所サービス事業所数：情報サービス業、インターネット付随サービス業の合計

※2 該当年度において実績値が未判明のものについては（日付）で記載（以降、同様）

## 今後の取組方向

- 兵庫の産業競争力強化を図るため、航空宇宙、健康医療、環境・エネルギー等の成長産業を創出する。また地場産業の新たな展開支援等、地域産業を振興する。
- 多様な主体による起業・創業を促進するため、起業家意識の醸成、立ち上げ支援、販路拡大など、継続的に起業家を育成する環境を整備する。
- 農林水産業の基幹産業化を目指し、農業経営基盤の強化や生産の拡大、革新的技術の活用等を推進する。



## 項目1 兵庫の強みを活かした産業競争力の強化

### (1) 次世代産業の創出

事例	最先端技術研究事業の推進
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県の将来を支える産業分野の育成を図るため、産学官連携による萌芽的な研究調査や立ち上がり期の予備的、準備的な研究プロジェクトを支援する提案公募型の研究補助制度「兵庫県最先端技術研究事業（COEプログラム）」を実施</li> <li>・ 令和3年度は、DX化を推進させる新たな技術開発を支援するため、DX分野の採択枠を拡充して実施 (R3:42件採択(内DX枠:11件))</li> </ul>



衛星データを活用した、農地AI区画形成の実証

### (2) ものづくり産業の経営基盤・技術開発の促進

事例	スマートものづくりセンターの設置
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 神戸（R2～）、尼崎・姫路・豊岡（R3～）の4カ所に「スマートものづくりセンター」を設置。産学官連携による共同研究の促進や、先端共同利用機器を活用したAI・IoT・ロボット技術・製品の活用を視野に入れた中小企業等への技術指導・相談等を実施</li> </ul>



スマートものづくりセンター

### (3) Society5.0を牽引する産業の集積促進

事例	IT事業所開設等の支援
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報関連産業等の活性化を図るため、①多自然地域のIT事業所、②高度IT事業所、③ITカリスマによる事業所の開設を支援し、多様なIT起業家等の集積を促進（R2:12件、R3:14件）</li> </ul> <p>【高度IT事業所の開設支援例】                      (株)アドリブワークス：事業名「triven(トリブン)」誰もが気軽に起業するため、仲間や資金、知見などを簡単に集められ、ビジネスアイデアを具現化できるプラットフォームの展開</p>



(株)アドリブワークス

### 【政策アウトカム指標】

	指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間	
					R2	R3
1	中小企業等に対する技術移転件数	件	目標	—	800	800
			実績	780	713	671
			評価	—	89.1%/C	83.8%/C
2	県内本社企業の海外現地法人売上高	億円	目標	—	32,955	33,943
			実績	32,853	31,123	(R5.8月)
			評価	—	94.4%/B	—
3	県内本社企業の海外展開数(累計)	社	目標	—	691	709
			実績	673	691	688
			評価	—	100.0%/A	97.0%/B
4	情報通信関連産業の売上高	億円	目標	—	2,238	2,293
			実績	2,409	2,599	(R5.4月)
			評価	—	116.0%/A	—
5	県内次世代産業の生産額等	億円	目標	—	6,544	6,771
			実績	5,616	(R4.10月)	(R5.10月)
			評価	—	—	—

## 項目2 地域産業の振興

### (1) 地域の中小企業の経営基盤強化

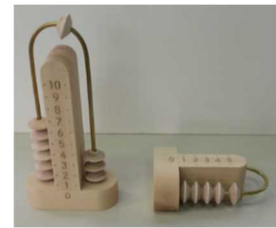
事例	相談・助言、運転資金支援等による中小企業支援
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(公財)ひょうご産業活性化センターを中核機関とした県内19の支援機関と30の連携団体によるネットワークを構築。ワンストップで企業ニーズに対応する「中小企業支援ネットひょうご」による総合的かつ集中的な支援体制を確立</li> <li>・コロナ禍により売上が減少した中小企業の資金繰りを支援するため、令和2年度から無利子・無保証料である「新型コロナウイルス感染症対応資金(ゼロゼロ融資)」を中心とした各種中小企業融資制度を実施 (R2:62,104件、R3:13,539件)</li> <li>・県内中小企業者が直面している資金繰りの状況やポストコロナにおける地域金融のあるべき姿について、県内金融機関との意見交換を実施</li> </ul>



県内金融機関との意見交換会の様子

### (2) 地場産業の新たな展開への支援

事例	地場産業の持続・活性化への支援
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍により被害を受けた地場産業の持続的発展に向け、県内産地組合による「新しい生活様式」(ひょうごスタイル)での活用が期待される新技術開発、販路開拓等の取組を支援(R2:16件、R3:18件)</li> <li>・具体的には、感染症拡大防止に資する、抗ウイルス素材を用いた新製品開発やオンラインなど非接触手段による販路開拓、サーモカメラの設置など事業所の環境整備を支援</li> </ul>



抗ウイルス素材を用いた播州そろばん知育玩具

### (3) 商業業務機能の集積促進

事例	姫路駅周辺の再整備などまちづくりと一体となった商業機能の集積
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姫路駅周辺では、にぎわいとうるおいの交流都心をめざす「キャスティ21」計画に基づき、医療・文化機能の統合・集積など、まちづくりと一体となった商業拠点機能の充実を推進</li> <li>・「兵庫県立はりま姫路総合医療センター」や姫路駅北側の交流広場・半地下式庭園の整備を進めるなど、更なる高次都市機能の集積を促進</li> </ul>




はりま姫路総合医療センターの整備


### 【政策アウトカム指標】

	指標名	単位	区分	(参考)	計画期間	
				R1	R2	R3
1	県内中小企業の1企業当たり売上高の増加率	%	目標	—	対前年1%増	対前年1%増
			実績	1.7%増	(R4.9月)	(R5.8月)
			評価	—	—	—
2	地場産業の生産額(主要産地)	億円	目標	—	2,700維持	2,700維持
			実績	2,382	(R5.1月)	(R6.1月)
			評価	—	—	—
3	商店街活性化等によるしごと創出数(累計)	人	目標	—	95	190
			実績	122	76	90
			評価	—	80.0%/C	47.4%/D

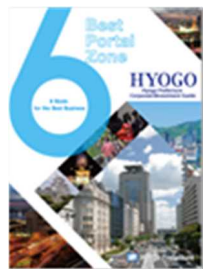
## 項目3 企業立地・投資の促進

### (1) 雇用拡大につながる企業誘致の促進

事例	産業立地条例による企業立地の促進
	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業の活性化と雇用の創出を図るため、産業立地条例による本社機能（本社・研究所等）等の立地支援や、不動産取得税・法人事業税の軽減、設備投資・賃料・雇用補助を実施（補助件数R2:50件、R3:67件）</li> </ul>
	 <p>本社機能を東京から淡路市へ移転「㈱パソナグループ」</p>

事例	市町と連携して取り組む産業拠点の整備
	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業立地の促進や雇用の創出など地域創生を推進する観点から、小野市と共同してひょうご小野産業団地を整備</li> <li>市が道路、上下水道、公園などの関連インフラ整備を行い、企業庁が産業用地の造成及び企業誘致、分譲を実施</li> <li>同産業団地の整備に加え、「ひょうご情報公園都市」（三木市）次期工区にも着手</li> </ul>
	 <p>ひょうご小野産業団地の整備</p>

### (2) 世界から選ばれる投資環境の整備


事例	外国・外資系企業立地を促進
	<ul style="list-style-type: none"> <li>最先端科学技術基盤や産業の集積、交通の利便性といった本県の立地優位性に加えて、産業立地条例に基づく国際経済地区への優遇措置により、外資系企業の立地を促進（外国・外資系立地件数 R2:118件、R3:131件）</li> </ul> <p>【令和3年度進出事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アンドリッツ(株)（オーストリア）[製紙工場のプラント整備販売]</li> <li>医療革新国際連携(株)（中国）[医療コンサルティング]</li> </ul>
	 <p>外資系企業立地促進のパンフレット</p>


#### 【政策アウトカム指標】

	指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間	
					R2	R3
1	企業立地件数（本社機能・事務所数）（H27～累計）	件	目標	—	225	272
			実績	198	259	338
			評価	—	115.1%/A	124.3%/A
2	企業立地件数（外国・外資系）（H27～累計）	件	目標	—	142	167
			実績	111	118	131
			評価	—	83.1%/C	78.4%/C
3	企業立地件数（IT事業所）（H27～累計）	件	目標	—	64	76
			実績	13	52	66
			評価	—	81.3%/C	86.8%/C
4	企業立地によるしごと創出数（本社機能・事務所）（H27～累計）	人	目標	—	1,646	1,920
			実績	1,783	2,290	2,917
			評価	—	139.1%/A	151.9%/A


## 項目4 起業・創業の適地ひょうごの実現

### (1) 有望な起業家の成長支援

事例	起業プラザひょうごの機能充実	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>「起業プラザひょうご」を、令和2年9月に三井住友銀行神戸本部ビルに移転し、県内コワーキング施設運営者・利用者の情報交換・相互連携を推進</li> <li>同プラザの成果や起業機運を全県に波及させるため、令和2年7月、姫路市、尼崎市と連携したエリア拠点を設置</li> </ul>	 <p>起業プラザひょうご（神戸）</p>

事例	UNOPS S3i イノベーションセンター・ジャパンとの連携	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年11月、アジアでは初の「UNOPS（国連プロジェクト・サービス機関）S3i イノベーションセンター・ジャパン」を神戸市と共同で三井住友銀行神戸本部ビルに誘致</li> <li>神戸市、UNOPS と連携し、グローバルなSDGsの課題解決を目指す共創プログラム「SDGs CHALLENGE」を実施</li> </ul>	 <p>SDGs CHALLENGE の最終デモデイ</p>

### (2) 多様な主体による起業・創業の更なる支援

事例	県内大学と連携した起業人材の育成	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>イノベーションを自ら創出できる力を持ったグローバル人材を育成するため、令和2年10月より、県・神戸市および神戸大学が連携して「グローバル・アントレプレナー育成プログラム」を開講</li> <li>令和3年10月からは、起業プラザひょうご(神戸、姫路)と連携し、テクノロジーに軸足を置いた兵庫県立大学による講座を開催し、メンタリングを組み合わせた若者向けの伴走型支援を実施</li> </ul>	 <p>グローバル・アントレプレナー育成プログラムの様子</p>


### 【政策アウトカム指標】

	指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間	
					R2	R3
1	開業事業所数(経済センサス)	件	目標	—	—	15,700
			実績	⑳11,287	—	(R5.6月)
			評価	—	—	—
2	開業事業所数(単独事業所)(経済センサス)	件	目標	—	7,000	7,000
			実績	⑳2,890	—	(R5.6月)
			評価	—	—	—
3	開業事業所数(本所・本社・本店)(経済センサス)	件	目標	—	1,600	1,600
			実績	⑳891	—	(R5.6月)
			評価	—	—	—
4	起業プラザひょうごの会員数(エリア拠点含)	人	目標	—	150	150
			実績	92	145	(R4.9月)
			評価	—	96.7%/B	—
5	コワーキングスペース開設件数(累計)	件	目標	—	27	35
			実績	19	28	34
			評価	—	103.7%/A	97.1%/B




## 項目5 農林水産業の基幹産業化の推進


### (1) 農業の経営基盤の強化

事例	スマート農業の推進
<ul style="list-style-type: none"> <li>農作業の省力化や労働環境の改善、農業経営の安定化を目指すため、スマート農機導入時の収量等の比較による技術実証や、スマート農機、ほ場・経営管理ソフトの導入支援を実施</li> </ul>	
	
ドローンによる播種の実演	


### (2) 収益性の高い林業の推進

事例	主伐による原木の安定供給や再生林の推進
<ul style="list-style-type: none"> <li>主伐による持続的な原木供給と、その後の再生林や保育を確実に実行するため、低コストで効率的な「主伐・再生林低コスト普及モデル」の構築に向け、施業にかかるコスト等のデータ収集・分析を実施 (R2:15ha、R3:34ha)</li> </ul>	
	
主伐地 (朝来市山東町)	

### (3) 水産業の経営強化

事例	沖合漁業の経営維持
<ul style="list-style-type: none"> <li>収益性の劣る老朽船解消のため、燃料費など操業コストの削減や漁獲物の付加価値向上、船員の定着を図るための就労環境の改善などに必要な装備を取り入れた改革型漁船の建造を推進 (R2:2件、R3:1件)</li> </ul>	
	
令和3年6月に竣工した沖底漁船	

### (4) 兵庫の農林水産物のブランド力強化

事例	ひょうごの「農」「食」輸出拡大の促進
<ul style="list-style-type: none"> <li>海外における日本食人気の広がり等を県産品の輸出を進める好機と捉え、香港、マレーシア、フランス、ドバイをターゲットに、百貨店等でのテスト販売やバイヤー向け商談会の開催などのプロモーションを実施 (R2:39事業者、79品目、R3:27事業者、84品目)</li> </ul>	
	
百貨店にて販売会 (香港)	

### 【政策アウトカム指標】

	指標名	単位	区分	(参考)	計画期間	
				R1	R2	R3
1	農業産出額 (畜産産出額含まず)	億円	目標	—	1,005	961
			実績	940	886	(R4.12月)
			評価	—	88.2%/C	—
2	畜産産出額	億円	目標	—	555	614
			実績	569	592	(R5.3月)
			評価	—	106.7%/A	—
3	林業・木材産業産出額	億円	目標	—	590	594
			実績	594	(R4.12月)	(R5.8月)
			評価	—	—	—
4	漁業産出額	億円	目標	—	471	450
			実績	485	488	(R5.3月)
			評価	—	103.6%/A	—
5	海外市場開拓数 (品目毎累計)	国・地域	目標	—	150	160
			実績	143	153	163
			評価	—	102.0%/A	101.9%/A

## 重点目標 2 内外との交流が活力を生む兵庫をつくる


重点指標	単位	区分	(参考) R1	計画期間	
				R2	R3
1 県内観光受入客数	万人	目標	—	14,500 うち外国人 235	14,800 うち外国人 270
		実績	13,651 うち外国人 193	7,832 万人 外国人は調査未実施	(R4.9月)
		評価	—	54.0%/D	—
2 県内観光消費額	億円	目標	—	14,200	14,700
		実績	13,114	6,821	(R4.9月)
		評価	—	48.0%/D	—
3 宿泊者数(延べ人数)	万人	目標	—	1,450 うち外国人 165	1,500 うち外国人 190
		実績	1,442 うち外国人 <sup>㊸</sup> 137	898 うち外国人 18	879 うち外国人 5
		評価	—	61.9%/D 外国人 10.9%	58.6%/D 外国人 2.6%
4 来訪者満足度	%	目標	—	72.0	73.0
		実績	62.6	72.9	66.1
		評価	—	101.3%/A	90.5%/B
5 リピーター率(再訪意向率)	%	目標	—	52.0	53.0
		実績	<sup>㊸</sup> 50.0	53.5	58.5
		評価	—	102.9%/A	110.4%/A
6 一日当たり県内来訪者数	千人	目標	—	373	381
		実績	353	336	(R5.5月)
		評価	—	90.1%/B	—

### 今後の取組方向



- 万博を契機として県内外からの誘客を促進。県内各地でのひょうごフィールドパビリオンの展開に向けて多様な地域資源を掘り起こす。体験コンテンツの造成と兵庫五国のブランド力強化を図り、効果的なプロモーションを展開することで地域内の消費に結びつける。
- 定住人口に加え、人口が減少し活力が失われつつある地域と、地域に関心のある人をつなげることにより、新たな地域の担い手となる関係人口を創出する。
- ポストコロナ社会に向けて、大都市から兵庫への流れを確かなものにするテレワークや二地域居住等の新しい働き方や暮らし方を推進する。

## 項目6 地域資源を活かした交流人口の拡大



### (1) 県内外からの誘客促進

事例	観光産業の再生と活性化に向けた支援
<ul style="list-style-type: none"> <li>「Re-DISCOVER HYOGO（ひょうご再発見）」をコンセプトに、雑誌やテレビ、FMラジオ、SNSなどの多様なメディアを活用した情報発信を展開</li> <li>コロナの影響により需要の落ち込んだ県内旅行・宿泊の回復を通じ地域観光を支援するため、令和3年10月から県内旅行・宿泊代金等を支援する「ふるさと応援！ひょうごを旅しようキャンペーン」を実施</li> </ul>	
 <small>キャンペーンのロゴマーク</small>	

### (2) 国際ツーリズムの促進

事例	周遊・体験等コンテンツ開発
<ul style="list-style-type: none"> <li>2025年大阪・関西万博のイバウンドを視野に、兵庫五国の文化・産業に根差した体験型着地コンテンツを開発（R2:55件、R3:32件）</li> </ul>	
コンテンツ例① 西宮能楽堂・能体験 重要無形文化財総合指定保持者の梅若基徳氏が、能の歴史や衣装・道具などについて解説し、すり足、囃子などを体験	
 <small>能体験の様子</small>	
コンテンツ例② 茶摘み体験（tearism（tea+tourism）） 平安時代から続く丹波茶の茶摘みを体験	
 <small>茶摘み体験の様子</small>	

### (3) 観光客受入基盤の整備

事例	観光拠点整備への支援
<ul style="list-style-type: none"> <li>築100年の古民家を一棟貸し切りで、宿泊や期間限定のカフェ・ギャラリー、ワークショップ等に活用できるゲストハウスとして改修・整備（神河町）</li> <li>宿泊施設「NIPPONIA 平福宿場町」向かいの旧酒造場を、地元産野菜を提供するレストラン、和菓子店が入る複合施設として改修・整備（佐用町）</li> </ul>	
  <small>NIPPONIA 平福宿場町</small>	

### 【政策アウトカム指標】

	指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間	
					R2	R3
1	あいたい兵庫キャンペーン期間中の観光客入込数伸び率	%	目標	—	110	110
			実績	107.1	94.8	(R4.9月)
			評価	—	86.2%/C	—
2	周遊・体験等コンテンツの開発件数	件	目標	—	50	80
			実績	—	55	87
			評価	—	110.0%/A	108.8%/A
3	海外プロモーション数(累計)	件	目標	—	61	73
			実績	49	57	66
			評価	—	93.4%/B	90.4%/B
4	観光消費拡大による雇用創出数(累計)	人	目標	—	3,627	4,988
			実績	2,076	2,076	(R4.9月)
			評価	—	57.2%/D	—

## 項目7 定住人口・関係人口の創出・拡大

### (1) 二地域居住・都市農村交流の促進

事例	交流・関係人口の創出
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丹波地域で元気に活躍する人材（たんば暮らし実践者）が、都市部の若者や子育て世帯と直接語り合う機会を増やすため、「たんば暮らしファン交流カフェ」（R2年度:44回開催/延べ362人参加、R3年度:52回開催/延べ346人参加）、「たんば暮らしセミナー」（R2年度:8種29回開催/延べ340人参加、R3年度:8種24回開催/延べ253人参加）を開催</li> <li>・多自然地域と都市部を行き来し、里山の地域づくりに継続的に関わる人材（関係人口）を創出するため、「関係人口創出・拡大スクール」を開催</li> </ul>



オンライン交流カフェの様子

### (2) 地域再生大作戦の展開

事例	都市部からの外部人材等による地域づくり活動の活発化
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年から菓草産地の丹波市和田地区と兵庫医療大学との連携により、「当帰葉」の商品開発、生産体制の確保や販路開拓など経済活動を展開。令和2年からは地域内に新たな女性グループが誕生し、離乳食から介護食を網羅するスープ開発に発展</li> <li>・地域づくり人材の確保を図るため、香美町・淡路市において、複数の仕事を組み合わせたマルチワークに取り組む特定地域づくり事業協同組合を、県内で初めて認定（令和4年4月）</li> </ul>



スープ開発の様子

### (3) 地域特性に応じた空き家等の有効活用

事例	空き家活用支援事業での改修事例
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家活用支援事業の地域交流拠点型を活用し、廃村となった佐用町若州集落の空き家を都市と農村との交流及び宿泊施設「glaminka SAYO 集落」として改修（R2年度）</li> <li>・豊岡市の空き家を、地産地消や地域の歴史に関連したメニューを提供するカフェと、地元住民向けのコワーキングスペースを併設した施設に改修（R3年度）</li> </ul>

glaminka  
改修前



改修後




### 【政策アウトカム指標】


	指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間	
					R2	R3
1	ひょうご e-県民制度登録者数	人	目標	—	50,000	65,000
			実績	31,076	52,159	74,999
			評価	—	104.0%/A	115.4%/A
2	地域再生大作戦取組地区の交流人口(累計)	人	目標	—	86,000	129,000
			実績	43,000	75,232	119,732
			評価	—	87.5%/C	92.8%/B
3	地域おこし協力隊活動者数(退任後も含む)	人	目標	—	190	195
			実績	178	247	278
			評価	—	130.0%/A	142.6%/A
4	空き家活用件数	件	目標	—	100	100
			実績	231	324	310
			評価	—	324.0%/A	310.0%/A




## 項目 8 交流を支える交通基盤の充実

### (1) 交流を支える交通基盤の充実

事例	基幹道路ネットワーク 北近畿豊岡自動車道（日高豊岡南道路）の供用開始
<ul style="list-style-type: none"> <li>・但馬地域と丹波地域を結ぶ国道483号北近畿豊岡自動車道（延長70km）のうち、日高豊岡南道路6.1kmが令和2年11月1日に開通</li> <li>・令和3年8月には、北近畿豊岡自動車道と山陰近畿自動車道の早期実現促進大会が開催されるなど、魅力ある地域づくりに欠かせない基幹道路の早期整備に取り組む</li> </ul>	 <p>日高豊岡南道路の開通式</p>

事例	県内空港の活用による交流人口の拡大
<ul style="list-style-type: none"> <li>・関西3空港の最大活用について考えるセミナー・フォーラムの開催を通じ、3空港の魅力や可能性を広く発信することで最大活用に向けた地元気運を醸成（セミナー参加者 R3:120人）</li> <li>・但馬地域の交流人口拡大を目指し、新たな航空需要を創出する臨時チャーター便を運航（鹿児島空港(令和3年11月)）</li> </ul>	 <p>鹿児島から但馬空港に到着した参加者</p>

事例	次世代モビリティを活用した交通サービスの実証実験
<ul style="list-style-type: none"> <li>・播磨科学公園都市において、地域住民や来訪者の移動に対する利便性の向上と地域活性化を図るため、超小型EVなど次世代モビリティサービスの社会実装に向けた実証実験を実施（実施時期:令和3年11月25日～令和4年2月10日）</li> </ul>	 <p>実証実験で利用した超小型EV</p>

### 【政策アウトカム指標】

	指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間	
					R2	R3
1	基幹道路延長に対する供用延長割合(累計)	%	目標	—	83	84
			実績	82	83	84
			評価	—	100.0%/A	100.0%/A
2	但馬空港の旅客数	万人	目標	—	4.7	3.1
			実績	4.1	1.6	2.1
			評価	—	34.0%/D	67.7%/D

### 重点目標3 豊かな文化が息づき、安全安心でにぎわいあふれる兵庫をつくる


重点指標		単位	区分	(参考) R1	計画期間	
					R2	R3
1	住んでいる地域は、芸術文化に接する機会があると思う人の割合	%	目標	—	前年度を上回る	前年度を上回る
			実績	38.2%	38.2%	37.1%
			評価	—	99.7%/B	97.0%/B
2	住んでいる地域が自然災害に対して「安全」「まあ安全」だと思う人の割合	%	目標	—	前年度を上回る	前年度を上回る
			実績	73.2%	71.8%	72.8%
			評価	—	98.0%/B	101.0%/A
3	CEFR A1 レベル相当以上(英検準2級～3級相当)の英語力を有すると思われる中学3年生の割合	%	目標	—	42.0%	44.0%
			実績	㊸40.8%	44.2%	41.6%
			評価	—	105.2%/A	94.5%/B
	CEFR A2 レベル相当以上(英検2級～準2級相当)の英語力を有すると思われる高校3年生の割合	%	目標	—	50.0%	50.0%
			実績	㊸48.5%	52.9%	53.8%
			評価	—	105.8%/A	107.6%/A
4	将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	%	目標	—	前年度を上回る	前年度を上回る
			実績	小学校：84.6% 中学校：69.7%	(全国調査中止)	小学校：80.5% 中学校：66.8%
			評価	—	—	—
5	将来の生き方や職業について考え、それを実現するために努力している生徒の割合	%	目標	—	67.0%	68.0%
			実績	64.7%	68.4%	68.9%
			評価	—	102.1%/A	101.3%/A
6	住んでいる地域は、高齢者にも、障害のある人にも暮らしやすいと思う人の割合	%	目標	—	前年度を上回る	前年度を上回る
			実績	37.6%	42.3%	43.1%
			評価	—	112.2%/A	101.7%/A
7	住んでいる地域の自然環境は守られていると思う人の割合	%	目標	—	前年度を上回る	前年度を上回る
			実績	47.3%	52.1%	47.5%
			評価	—	109.9%/A	91.2%/B

#### 今後の取組方向


- 芸術文化が身近に感じられる文化力の高いまちをつくるため、県民による芸術文化活動の支援や芸術・文化に親しむ機会の充実等、「する」「みる」2つの観点から取組を進める。
- 良好で快適な生活環境を創出するため、都市のリノベーションや商店街の再生等、地域特性に応じたまちなにぎわい創出に取り組むとともに、自然環境の保全や温室効果ガス排出削減を推進し、豊かな自然と共生できる地域づくりに取り組む。
- 安全安心でいきいきと暮らせるまちをつくるため、地域医療体制や地域防犯・防災体制の充実を図るとともに、年齢、性別、障害の有無、国籍などを問わず誰もが暮らしやすい生活・就労環境、地域で支え合う支援体制の整備を進める。
- 将来を担う人づくりを推進するため、教育環境の整備、確かな学力や豊かな心の育成、大学等高等教育の充実に取り組む。

## 項目9 豊かな文化が息づき、にぎわいあふれる地域づくり


### (1) 芸術文化が身近に感じられる地域づくり

事例	豊岡演劇祭を核とした文化芸術によるまちづくり
	<ul style="list-style-type: none"> <li>豊岡市において、コロナ対策を講じながら、「豊岡演劇祭ではじめる持続可能なまちづくり」をコンセプトに、令和2年9月に「豊岡演劇祭」を開催</li> <li>令和3年4月には、但馬初となる4年制の県立大学、芸術文化観光専門職大学を開学</li> </ul>
	 <p>芸術文化観光専門職大学の開学</p>

### (2) にぎわいが感じられるまちづくりの推進

事例	神戸三宮雲井通5丁目地区の再開発
	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな交通結節拠点となる中・長距離バスターミナルの整備に加え、魅力・活力を創造する都市機能の集積を図るため、令和元年度から県と神戸市による調整会議を開催し、意見交換を実施</li> <li>令和2年度から市街地再開発事業に着手し、令和9年度の完成に向けて事業を推進</li> </ul>
	 <p>神戸三宮雲井通5丁目地区のイメージ</p>

### (3) 豊かな環境の保全と創造


事例	豊かな海づくりの推進
	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年6月3日の「瀬戸内海環境保全特別措置法の一部を改正する法律」の成立を受け、栄養塩類管理計画の策定に取り組むなど豊かで美しい里海を目指した先進的な取組を展開</li> <li>令和4年11月に兵庫県で開催する「第41回全国豊かな海づくり大会」の1年前プレイベントを令和3年10月に開催。機運醸成を図るとともに、豊かな海づくりへの取組を発信</li> </ul>
	 <p>「第41回全国豊かな海づくり大会」の1年前プレイベントの様子</p>

### 【政策アウトカム指標】


	指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間	
					R2	R3
1	舞台芸術のアウトリーチ活動の実施回数	回	目標	—	73	75
			実績	65	38	60
			評価	—	52.1%/D	80.0%/C
2	住んでいる都市が快適で魅力的だと思う人の割合	%	目標	—	56	57
			実績	55.0	57	57.5
			評価	—	101.8%/A	100.9%/A
3	住んでいる地域で自慢したい地域の宝(風景・産物・文化等)があると思う人の割合	%	目標	—	毎年度前年を上回る	毎年度前年を上回る
			実績	51.6	55.2	54.3
			評価	—	106.8%/A	98.0%/B
4	人口集中地区の緑地率	%	目標	—	24.2	—
			実績	㊦24.6	24.6	— (次回R7)
			評価	—	101.7%/A	—

## 項目 10 安全安心で、快適に暮らせる地域づくり

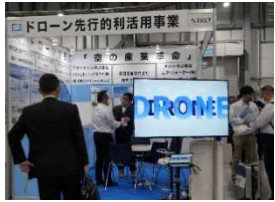
### (1) 安全安心に暮らせる福祉・医療の充実

事例	ヤングケアラーへの支援など安全安心に暮らせる福祉・医療の充実
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアを担う子どもたちが取り残されることがない社会の実現を目指し、令和4年2月に「兵庫県ケアラー・ヤングケアラー支援推進方策」を策定するとともに、6月には相談窓口を開設</li> <li>・令和2年10月、県内最初の特別養護老人ホーム「万寿の家」の移転建替に合わせ、介護ロボット等を導入し、研修・体験拠点を整備</li> <li>・県内に定着する医師の増加や地域偏在の解消を図るため、神戸大学、兵庫医科大学等において、へき地等勤務医師を養成し、医師が不足する地域へ派遣（R2:107人、R3:117人）</li> </ul>	
 <p>兵庫県ヤングケアラー・若者ケアラー相談窓口開所式の様子</p>	

### (2) 防災・減災対策の総合的推進

事例	自然災害に備える強靱な県土の構築
<ul style="list-style-type: none"> <li>・南海トラフ地震による津波に備えるため、「津波防災インフラ整備計画」に基づき、防潮堤等の沈下対策や防潮水門の整備など緊急かつ重要な津波対策を計画的に推進</li> <li>・平成30年7月豪雨や令和元年東日本台風等、激甚化・頻発化する豪雨災害に備え、「河川対策アクションプログラム」に基づき、河川の事前防災対策を重点的に推進</li> </ul>	
 <p>福良港 湾口防波堤 (南あわじ市)</p>	

### (3) 地域生活を維持する革新的技術の普及促進

事例	ドローンや自動運転など革新的技術の普及促進
<ul style="list-style-type: none"> <li>・播磨科学公園都市内で、全国初となるドローンのレベル3飛行（無人地帯での補助者なし目視外飛行）での鳥獣害調査を実施するとともに、東京で開催された国際ドローン展（令和3年11月24日～26日）等にブースを出展し、ドローン利活用の普及啓発を実施</li> <li>・播磨科学公園都市において、自動運転車など次世代モビリティの移動サービスについて、近畿経済産業局と共同で実証実験を実施</li> </ul>	
 <p>ドローンブース出展の様子</p>	


### 【政策アウトカム指標】

	指標名	単位	区分	(参考)	計画期間	
				R1	R2	R3
1	へき地等勤務医師の養成数	人	目標	—	236	246
			実績	217	236	246
			評価	—	100.0%/A	100.0%/A
2	治安が良く安心して暮らせると思う人の割合	%	目標	—	前年度を上回る	前年度を上回る
			実績	79.4	82.8	79.6
			評価	—	104.2%/A	96.1%/B
3	災害に備えて飲料水や食料品の備蓄をしている人の割合	%	目標	—	前年度を上回る	前年度を上回る
			実績	74.4	76.4	77.7
			評価	—	102.6%/A	102.0%/A




## 項目 11 次代の人材が育ち、誰もが力を発揮できる地域づくり


### (1) 時代を担う人材を育成する教育力の強化

事例	STEAM 教育（新たな文理融合教育）の推進
<ul style="list-style-type: none"> <li>国内外で活躍する「未来を創造する力を備えた人材」を育成するため、文理を横断した新しい学び（STEAM教育）を、指定校（兵庫、加古川東、豊岡）、協力校（神戸）で実施</li> </ul>	 <p>STEAM 特別講座（電子工作） （加古川東高校）</p>

### (2) 全員活躍社会の構築

事例	障害者スポーツの推進
<ul style="list-style-type: none"> <li>「ユニバーサル社会」の実現に向けた県民の機運を醸成するため、「東京 2020 パラリンピック聖火フェスティバル」を開催</li> <li>パラリンピックの開催を契機とし、障害者アスリートの育成・強化を図るとともに、パラスポーツ体験会事業等により競技者の裾野を拡大</li> </ul>	 <p>聖火トーチへの点火</p>

### (3) 多文化共生社会の実現

事例	多言語による情報の発信等
<ul style="list-style-type: none"> <li>ポストコロナの新しい生活様式への対応など、新たな課題への対応を盛り込んだ「ひょうご多文化共生社会推進指針」を改定</li> <li>コロナ関連の情報の多言語発信のほか、ワクチン接種会場で使用する多言語表示シートの作成や AI 通訳機の配置など、外国人県民の感染予防対策を支援</li> </ul>	 <p>①新型コロナウイルスワクチン接種会場 新型コロナウイルス ワクチンを 注射する場所 COVID-19 Vaccination Site 新冠疫苗接种会场 코로나 19 백신 접종 장소 Lugar de vacunación contra el nuevo coronavirus Local de vacinação contra o novo coronavírus Hội trường tiêm chủng vắc xin corona chủng mới 多言語表示シート</p>

### 【政策アウトカム指標】

	指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間	
					R2	R3
1	英語の勉強が好きだと回答した生徒の割合	%	目標	—	前年度を上回る	前年度を上回る
			実績	56.7	(全国調査中止)	57.9
			評価	—	—	—
2	課題研究等の探究活動の研究成果を英語で発表した生徒の割合	%	目標	—	—	前年度を上回る
			実績	—	46.1	60.1
			評価	—	—	130.4%/A
3	キャリアノート等を中学校へつなげている学校の割合	%	目標	—	前年度を上回る	前年度を上回る
			実績	63.1	75.6	93.4
			評価	—	119.8%/A	123.5%/A
4	企業等に勤める外部人材を招いた授業（講演会を除く）を実施した学校の割合	%	目標	—	—	前年度を上回る
			実績	—	53.1	55.1
			評価	—	—	103.8%/A
5	仕事と生活の調和推進企業認定件数(累計)	社	目標	—	300	360
			実績	244	300	365
			評価	—	100%/A	101.4%/A
6	就労系障害福祉サービス利用者数(累計)	人	目標	—	17,372	19,094
			実績	16,471	17,446	(R4.9月)
			評価	—	100.4%/A	—
7	障害者雇用率(法定雇用率)	%	目標	—	2.20	2.30
			実績	2.20	2.21	2.25
			評価	—	100.5%/A	97.8%/B
8	住んでいる地域が外国人にも暮らしやすくなっていると思う人の割合	%	目標	—	26	27
			実績	25.7	29.5	30.5
			評価	—	113.5%/A	113.0%/A

## 戦略2 社会増対策（社会減ゼロ プログラム）

### 1 目標

- ①2024年までに日本人社会減ゼロを目指す
- ②20歳代前半の日本人若者の県内定着率93.0%を目指す
- ③5年間で25,000人の外国人の増加を目指す

### 2 達成状況

戦略指標	単位	区分	(参考) R1	計画期間	
				R2	R3
1 日本人の転入超過数	人	目標	—	▲4,449	▲2,669
		実績	▲7,260	▲7,523	▲6,220
		評価	—	—/D	—/D
2 20歳代前半の若者定着率 93.0%を目指す	%	目標	—	92.2	92.4
		実績	92.0	91.5	91.5
		評価	—	99.2%/B	99.0%/B
3 外国人の増加数（累計）	人	目標	—	5,000	10,000
		実績	1,222（単年）	3,446	4,126
		評価	—	68.9%/D	41.3%/D

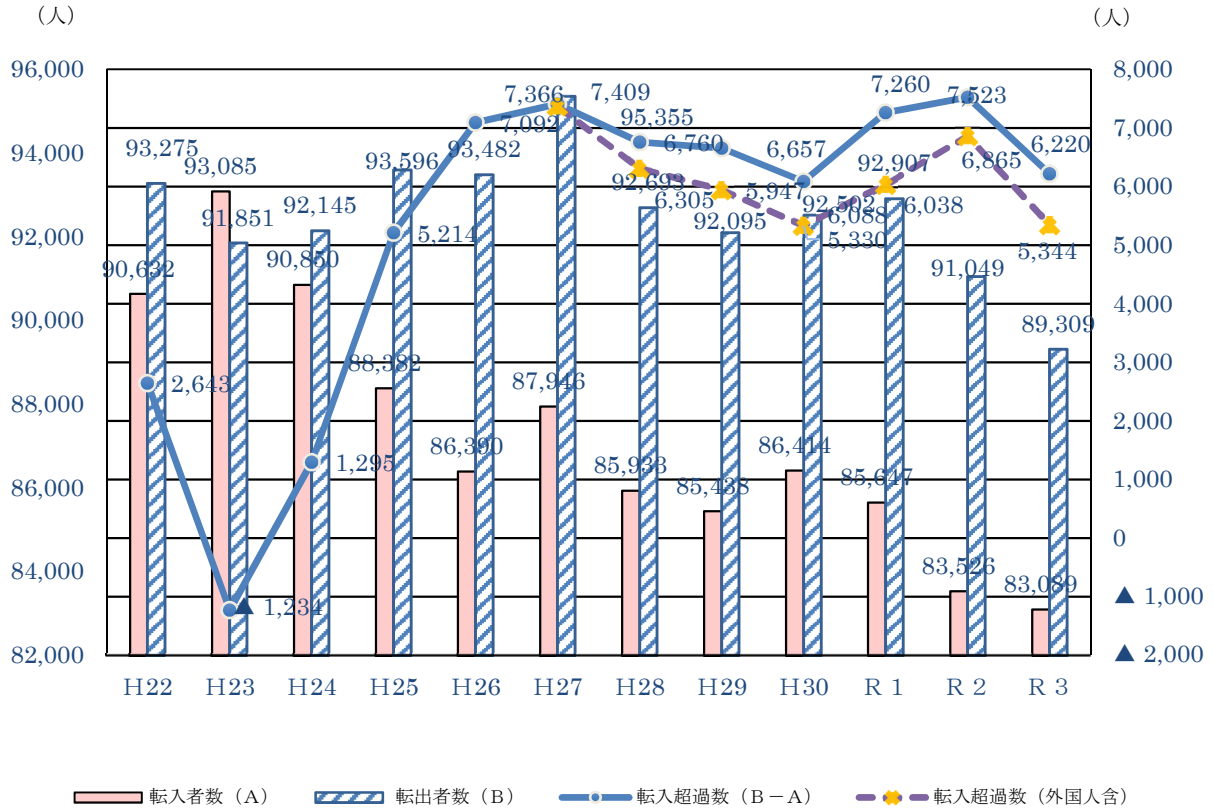
#### <状況分析>

- ・令和3年住民基本台帳人口移動報告における日本人の社会減（国内移動のみ）は▲6,220人となっており、平成24年以降転出超過が続いている。
- ・20歳代の転出超過がやや改善するとともに、30歳代も初めて転入超過となった。また、40歳代は2年連続で転入超過となった。
- ・新卒者の就職に伴う転出が大きな要因となり、20歳代前半の若者定着率は低下基調が続いている。
- ・コロナ禍での入国制限で留学生や技能実習生の流入が大幅に減少したことから、外国人転入者数は低迷した。

### 3 今後の取組方向性

- 若年層の県内企業への就職促進による転出抑制や、県内への転入促進対策を強化
- 働き方の変化を踏まえたテレワークやワーケーション、二拠点居住の推進
- 外国人や留学生が安心して生活できる受入環境の整備

### 【兵庫県の転出入の状況】



(出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」)

### 【人口移動（社会増減）の推移（日本人）】

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
転入超過 (A-B)	▲ 7,409	▲ 6,760	▲ 6,657	▲ 6,088	▲ 7,260	▲ 7,523	▲ 6,220
転入数 (A)	87,946	85,933	85,438	86,414	85,647	83,526	83,089
転出数 (B)	95,355	92,693	92,095	92,502	92,907	91,049	89,309
転入超過 ※	-	-	-	-	-	▲ 6,865	▲ 5,344

(転入超過 上段：国内移動のみ、下段：国際移動含む)

(出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」)

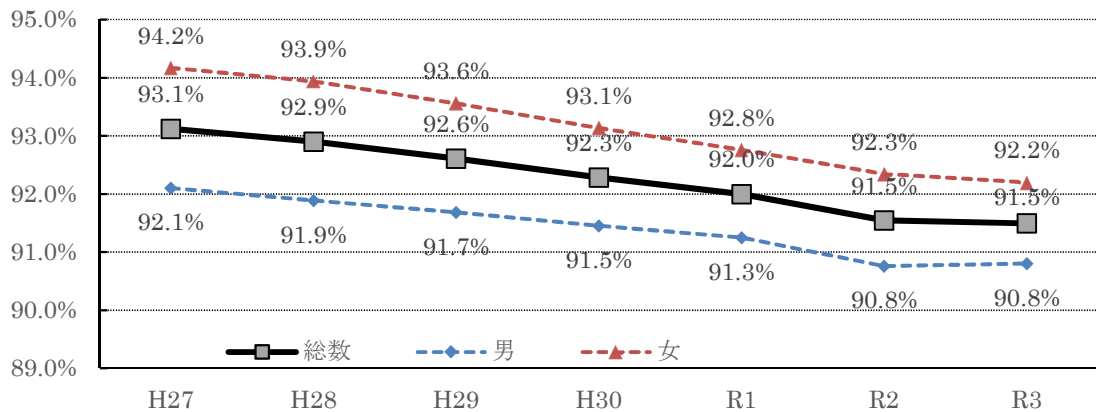
### 【対東京圏・大阪府・西日本の転入超過の状況】

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
東京都	▲ 4,955	▲ 4,606	▲ 4,742	▲ 5,260	▲ 5,465	▲ 3,904	▲ 3,631
東京圏	▲ 7,490	▲ 7,203	▲ 7,356	▲ 8,102	▲ 8,716	▲ 6,315	▲ 5,521
大阪府	▲ 2,240	▲ 2,069	▲ 1,791	▲ 2,134	▲ 3,302	▲ 4,579	▲ 2,812
西日本	2,372	2,717	2,142	3,333	3,441	2,281	2,071

(注：東京圏＝東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県 西日本＝兵庫県以西)

(出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」)

### 【20歳代前半の若者の県内定着率(日本人)の推移】



区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
総数(20~24歳)	291,823	284,552	278,325	273,482	269,343	268,020	265,025	264,519	264,023	265,294	263,157	263,321
他自治体への転出者数	16,118	15,898	16,245	16,832	17,043	18,430	18,814	19,549	20,367	21,227	22,244	22,395
転出率	5.5%	5.6%	5.8%	6.2%	6.3%	6.9%	7.1%	7.4%	7.7%	8.0%	8.5%	8.5%
定着率	94.5%	94.4%	94.2%	93.8%	93.7%	93.1%	92.9%	92.6%	92.3%	92.0%	91.5%	91.5%

(出典：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」、「住民基本台帳人口移動報告」)

### 【外国人の人口移動(社会増減) 転入超過の推移】

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
転入(A)	5,153	5,711	7,100	7,631	9,001	7,646	8,500
転出(B)	5,110	5,256	6,390	6,873	7,779	6,988	7,624
転入超過(C=A-B)	43	455	710	758	1,222	658	876
転入超過 ※	-	-	-	-	-	3,446	680

(転入超過 上段：国内移動のみ、下段：国際移動含む)

(出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」)



## 重点目標 4 自分らしく働ける兵庫をつくる


重点指標		単位	区分	(参考) R1	計画期間	
					R2	R3
1	20～30 歳代の若者の転入超過数(日本人)	人	目標	—	▲6,112	▲4,584
			実績	▲7,640	▲8,858	▲7,682
			評価	—	—/D	—/D
2	新たに農業、林業、漁業に就いた者の数	人	目標	—	480	375
			実績	325	399	371
			評価	—	83.1%/C	98.9%/B
3	外国人材(専門的・技術的分野、特定技能、技能実習生)の受入数	人	目標	—	19,230	23,100
			実績	19,737	21,559	21,050
			評価	—	112.1%/A	91.1%/B

### 今後の取組方向


- 就職を理由とする若年者の県外転出を抑制するため、県内高校や大学と連携し、学生の発達段階に応じた勤労観の醸成、早期離職抑制や県内企業への就職・定着促進に向けたキャリア教育等に取り組む。
- 自らの能力を発揮し、起業・創業を目指す若者を支援するほか、DX・GX・バイオ等の成長分野や学生等の就業ニーズが高い分野での仕事創出、企業集積を目指す。
- 若年女性の就職希望が多い事務系職種やサービス産業に加え、女性比率が低いものづくり産業等での雇用の場を創出するとともに、多様な働き方の支援や男性の家事育児参画の促進など、企業や地域と連携し、女性が活躍し続けられる環境を創出する。
- テレワークやワーケーション、二地域居住の取組を推進し、コロナ禍での暮らし方や働き方に対する価値観の変化を踏まえた、移住適地としての本県の魅力を積極的に発信する。
- 農林水産業の新たな担い手を育成するため、新規参入者の定着や経営の安定化の支援を充実するとともに、法人化や企業参入を促進し、雇用者の拡大・確保を図る。
- 高度な知識や技術力を持つ外国人や留学生の受け入れ・定着を促進するため、外国人材が持てる能力を発揮し、安心して生活できる環境の整備を進める。

## 項目1 地元就職の促進


### (1) 県内就業意識の高揚

事例	高校・大学と連携した取組	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内企業の魅力を知り、地元企業への就職を意識づけするため、大学生等を対象としたインターンシップや、参画企業とのマッチング会を開催（参加学生 R2:394人、R3:490人）</li> <li>・ 県内企業の情報を掲載した企業ガイドブックを県内高校2年生全員に配布（R2:240校（46千人）、R3:242校（47千人））。また、大学生対象のWEB版ガイドブックも作成し情報発信</li> </ul>		 <p>高校生向け企業ガイドブック</p>

### (2) 地元企業と若者のマッチング強化

事例	若者と県内企業とのマッチング	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中小企業の人材確保と若者の県内就職を促進するため、「ひょうごで働こう！マッチングサイト」による県内企業の求人情報や魅力を発信（マッチング件数 R2:112件、R3:214件）</li> <li>・ 令和4年3月、全国初の「県ワーク・ライフ・バランス表彰企業ばかりのWEB合同説明会」を実施（企業48社、学生252人参加）</li> </ul>		 <p>合同説明会のチラシ</p>

### (3) 女性活躍の推進

事例	女子学生のキャリアプランニング支援	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 女性の県内就職を促進するため、主に大学1・2年生の女子学生を対象に就職活動前からライフプランを考慮したキャリアプランニングに取り組むことを支援するフォーラム（R2:2回、R3:2回）や個別キャリア相談（R2:15人、R3:18人）を実施</li> </ul>		 <p>フォーラムの様子</p>

### 【政策アウトカム指標】

	指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間	
					R2	R3
1	県内大学生の県内就職希望率	%	目標	—	66.0	67.0
			実績	65.5	66.0	72.8
			評価	—	100.0%/A	108.7%/A
2	県内大学卒業生の県内企業への就職率	%	目標	—	33.0	33.0
			実績	28.2	29.8	29.4
			評価	—	90.3%/B	89.1%/C
3	若者(20歳代)の転入超過数	人	目標	—	▲5,678	▲4,259
			実績	▲7,098	▲8,832	▲7,962
			評価	—	—/D	—/D
4	若年女性(20歳代)の転入超過数(上記の内数)	人	目標	—	▲2,312	▲1,734
			実績	▲2,890	▲3,697	▲3,117
			評価	—	—/D	—/D
5	中小企業における「一般事業主行動計画」(女性の活躍に関する目標・取組)の策定率(累計)	%	目標	—	50	60
			実績	3.1	4.9	17.5
			評価	—	9.8%/D	29.2%/D
6	農業分野のしごと創出数	人	目標	—	400	300
			実績	243	299	268
			評価	—	74.8%/C	89.3%/C

## 項目2 UJIターンの促進

### (1) 第二新卒者等、若年層のUJIターンの支援

事例	ひょうごで働こう！合同企業説明会等の開催
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の影響により、採用手法として広まったWeb方式を用いる合同企業説明会を開催するなど、より多くの企業情報提供の場を設け、県内外の学生とのマッチング機会を創出 (R2:6回 R3:7回)</li> <li>・就職活動への関わり方や県内企業の魅力を伝える「保護者向け就活応援セミナー」を開催 (R2:1回、R3:1回)</li> </ul>



合同企業説明会の様子

事例	兵庫型滞在支援付き就業体験事業
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏からの転職希望者等に対し、県内企業での就業体験と短期滞在をあわせて斡旋し、県内就職を促進</li> <li>・首都圏からの転職希望者には、就業体験中の短期滞在費及び事前面接・就業体験時の旅費を助成 (相談件数 R3:27件)</li> </ul>



就業体験事業のチラシ

### (2) カムバックひょうごセンターを核とした移住・定住の促進

事例	移住・定住に向けた「カムバックひょうごセンター」の運営
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年4月、「カムバックひょうごセンター大阪サテライト」を開設。「ひょうご移住プラザ」(東京)、「カムバックひょうごセンター」(神戸)と連携したUJIターンの相談を実施</li> <li>・同年4月、「ひょうご移住プラザ」に「カムバックひょうごハローワーク」を併設、ワンストップで移住と就労相談を実施 (移住相談件数 R2:798件、R3:1,180件 就労相談件数 R2:88件、R3:113件)</li> <li>・効果的な情報発信のため、オンラインを活用した「ひょうご移住セミナー」を開催 (R2:16件、R3:49件)</li> </ul>





東京・ひょうご移住プラザ

#### 【政策アウトカム指標】


	指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間	
					R2	R3
1	県の支援による UJI ターン就職者数	人	目標	—	650	700
			実績	722	677	(R4.9月)
			評価	—	104.2%/A	—
2	カムバックひょうごセンター移住相談件数	件	目標	—	5,800	6,400
			実績	5,880	798	1,180
			評価	—	13.8%/D	18.4%/D
3	移住施策によって県外から転入した人の数 (累計) [県・市町の統合指標]	人	目標	—	400	800
			実績	2145	913	1,671
			評価	—	228.3%/A	208.9%/A
4	ひょうごe-県民登録者数 (県外)	人	目標	—	35,000	45,000
			実績	19,855	30,317	36,642
			評価	—	86.6%/C	81.4%/C

## 項目3 外国人材の活躍推進

### (1) 高度外国人の受け入れ促進

事例	外国人留学生の県内企業への就職促進	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人留学生の高度人材としての県内企業への就職を促進するため、外国人留学生インターンシップ、日本語能力向上支援を実施</li> <li>大学と企業の意見交換会や合同企業説明会を開催（R2:2件、R3:2件）したほか、令和3年度は動画配信サイトで元留学生等からのメッセージの配信など、就活に関する情報を多言語で発信</li> </ul>	 <p>インターンシップ説明会の様子</p>
事例	外国企業向け一次進出プロモーションの実施	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国企業の一次進出を兵庫県に効果的に取り込むため、欧州・米国・中国において兵庫・神戸の立地環境の魅力やワンストップサービスを周知するセミナー等を実施</li> <li>新型コロナウイルスの状況を踏まえ、パリ、ワシントン州、香港の3海外事務所主催のオンラインセミナーを開催（R3:3回）</li> </ul>	 <p>フランスに向けたオンラインセミナーの実施</p>

### (2) 外国人材の県内定着の促進

事例	外国・外資系企業とのネットワーク構築	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年2月、本県と外資系企業等とのネットワーク形成により、さらなる立地や定着を図るため、「多様性を活かした新しい働き方について」をテーマに、外資系企業代表による各社の取組の紹介や、今後の連携に向けた意見交換を実施</li> </ul>	 <p>外資系企業との意見交換会の様子</p>

#### 【政策アウトカム指標】

	指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間	
					R2	R3
1	外国人材の受入数（専門的・技術的分野）	人	目標	—	7,400	8,550
			実績	7,881	8,771	10,076
			評価	—	118.5%/A	117.8%/A
2	外国人材の受入数(特定技能)	人	目標	—	2,400	4,800
			実績	50	853	2,548
			評価	—	35.5%/D	53.1%/D
3	県立大学の海外留学生数（受入人数）	人	目標	—	350	350
			実績	224	234	231
			評価	—	66.9%/D	66.0%/D
4	県内中小企業等に就職した留学生数	人	目標	—	600	600
			実績	659	854	(R4.12月)
			評価	—	142.3%/A	—
5	住んでいる地域が外国人にも暮らしやすくなっていると思う人の割合	%	目標	—	26.0	27.0
			実績	25.7	29.5	30.5
			評価	—	113.5%/A	113.0%/A

## 戦略3 自然増対策(子ども・子育て対策)(婚姻数拡大プログラム)

### 1 目標

- ①2024年まで合計特殊出生率1.41を維持する(R1:1.41)
- ②結婚したいという希望を叶え、2024年に婚姻数27,000件を目指す

### 2 達成状況

戦略指標	単位	区分	(参考) R1	計画期間	
				R2	R3
1 合計特殊出生率	%	目標	—	1.41	1.41
		実績	1.41	1.39	1.36
		評価	—	99.3%/B	96.5%/B
2 婚姻件数	件	目標	—	25,000	25,500
		実績	25,109	21,964	20,938
		評価	—	87.9%/C	82.1%/C

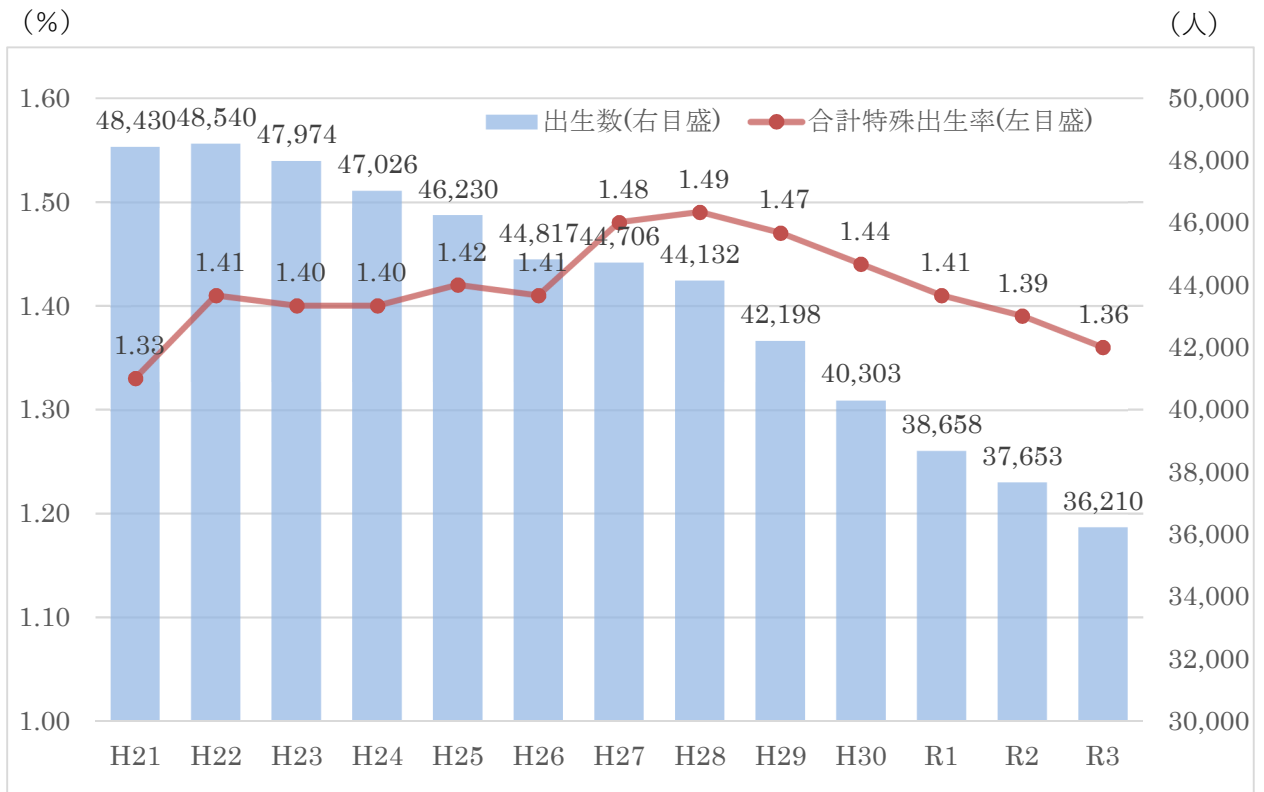
#### 〈状況分析〉

- ・合計特殊出生率は、晩婚化、晩産化等により平成28年度の1.49をピークに低下している。コロナ禍での感染リスクへの不安から、妊娠を控える動きもあり、令和3年は、前年比0.03ポイント減の1.36(概数ベース)となり、平成29年から5年連続で低下した。
- ・婚姻件数は、令和元年度は令和婚の影響もあり25,109件と前年より増加したが、令和3年は新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年に続き減少(前年比▲1,026件)し、長期的にみても減少傾向にある。

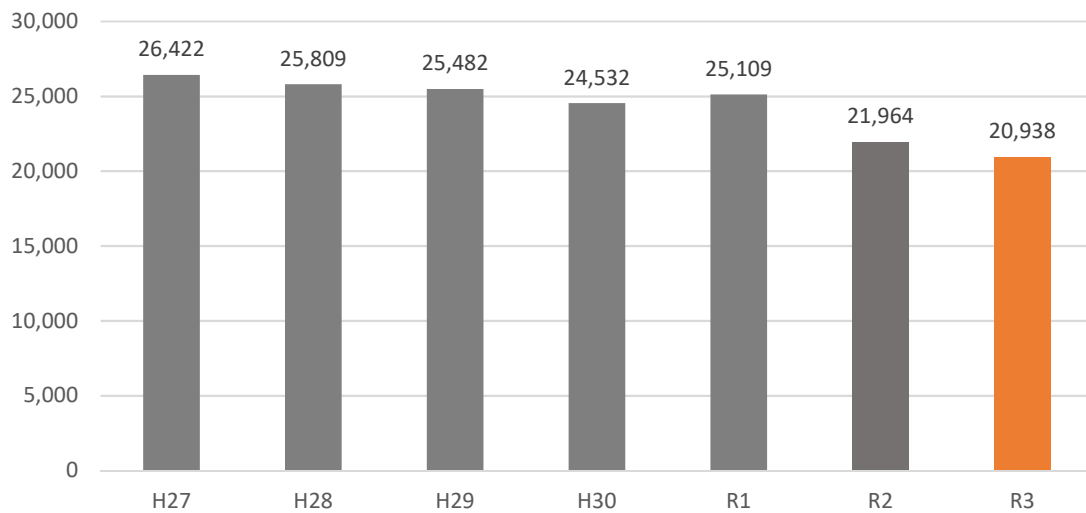
### 3 今後の取組方向性

- ライフステージの変化に応じた多様な働き方やワークライフバランスの推進
- 安心して子どもを産み育てられる環境の整備、経済的負担の軽減

### 【出生数と合計特殊出生率の推移】



### 【婚姻件数の推移】



## 重点目標5 結婚から子育てまで希望が叶う兵庫をつくる

重点指標	単位	区分	(参考) R1	計画期間	
				R2	R3
1 結婚願望がある者の割合	%	目標	—	—	—
		実績	㊦60.5%	—	—
		評価	—	—	—
2 住んでいる地域では、子育てがしやすいと思う人の割合	%	目標	—	前年度を上回る	前年度を上回る
		実績	55.4%	58.3%	58.8%
		評価	—	105.0%/A	100.8%/A
3 保育所待機児童数	人	目標	—	0人	0人
		実績	1,569人	769人	311人
		評価	—	—/D	—/D
4 放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)の待機児童数	人	目標	—	0人	0人
		実績	954人	1,180人	929人
		評価	—	—/D	—/D

### 今後の取組方向

- 結婚したいと願う人の希望が叶うよう、結婚希望者のマッチングによる、多様で自然な形の出会いを提供する。
- より安心して妊娠・出産に臨むことができるよう、悩みを抱える妊婦等の孤立防止対策や、不妊治療への支援、周産期医療体制の整備など、妊娠・出産環境の整備充実を総合的に推進する。
- 結婚や子育てといったライフステージの変化に応じた多様で柔軟な働き方ができるよう、保育の質・量の充実を図るとともに、ワーク・ライフ・バランスを推進し、第2子、第3子の出産へとつなげる。



## 項目1 結婚のきっかけづくり

### (1) 出会い・結婚支援の充実

事例	出会い・結婚支援の充実
	<ul style="list-style-type: none"> <li>「地域出会いサポートセンター」及び「ひょうご出会いサポート東京センター」において、各種サポート等、成婚に繋げる取組を実施（成婚数 R2:127組、R3:93組）</li> <li>令和2年度から、新型コロナウイルスの影響により対面でのサポートを実施しづらくなったことから、お相手探しをスマートフォンからも実施できるよう利便性を向上。また、令和3年9月には「ひょうご出会いサポート東京センター」を県東京事務所内に移転の上、オンラインのサービスも試行的に開始</li> </ul>



出会いイベントの開催

### (2) 結婚や子育てが楽しいと思える意識の醸成

事例	若者へのライフプランニング教育の推進
	<ul style="list-style-type: none"> <li>県と大学との地域創生包括連携協定の枠組みを活用し、県内大学生を対象に、就職・結婚・子育てを考えるライフプランニング教育の講義等を開催（R2:9回、R3:6回）</li> <li>令和3年3月、兵庫ゆかりの世界的な建築家・安藤忠雄氏を迎えた講演会を開催。WEB参加を含む800人を超える大学生に対して、自身の経歴や自らが設計した建物を例に挙げながら、結婚や子育てを含めて自らライフプランを立てることの大切さについて講話</li> </ul>



安藤忠雄氏講演会の様子



### 【政策アウトカム指標】

	指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間	
					R2	R3
1	出会いイベントの参加者数	人	目標	—	7,000	7,000
			実績	4,782	1,943	2,099
			評価	—	27.8%/D	30.0%/D
2	出会いサポートセンター会員数	人	目標	—	5,000	7,000
			実績	4,176	3,562	3,306
			評価	—	71.2%/C	47.2%/D
3	出会い支援事業等の成婚者数等【県・市町の統合指標】	組	目標	—	355	355
			実績	530	169	137
			評価	—	47.6%/D	38.6%/D
4	20～30歳代女性の転入超過数(日本人)	人	目標	—	▲2,708	▲2,031
			実績	▲3,385	▲3,786	▲2,933
			評価	—	—/D	—/D




## 項目2 安心して子どもを産み育てられる環境の整備

### (1) 妊娠・出産の不安解消

事例	不妊や予期せぬ妊娠など妊娠期から寄り添う子育て支援の充実
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年7月、予期せぬ妊娠など妊娠・出産・育児に悩みや不安を抱えた方やその家族等が、電話やメール、LINE面談、受診同行など、24時間365日安心して専門家に相談できる窓口を設置（相談件数 R2:5,466件、R3:11,494件）</li> <li>高額な医療費がかかる配偶者間の不妊治療に要する費用の一部を助成するとともに、不妊の原因を早期に発見し、効果的な治療へ繋げるため、不妊治療の入り口となる検査費用について助成（R2:2,333件、R3:4,059件）</li> </ul>	 <p>妊娠SOS相談 ひとりで悩まずに、すぐにご相談ください 毎日24時間 電話相談 TEL 078-351-3400 LINE相談 アカウント @ninchinodori メール相談 http://ninshinsos-sodan.com</p> <p>県内高校等に配付したカード</p>  <p>妊娠したかも…？ どうしたらいい…？ ひとりで悩まないで一緒に考えましょう</p> <p>妊娠SOS相談</p> <p>県内高校等に配付したカード</p>

### (2) 子育てや教育に係る負担の軽減


事例	乳幼児等医療費助成事業・こども医療費助成事業等の実施
<ul style="list-style-type: none"> <li>一定の所得以下の家庭の乳幼児等が病気やけがで医療機関等を受診した場合に、医療保険における自己負担額の一部を公費で負担する「乳幼児等医療費助成事業」（対象：小学3年生まで）及び「こども医療費助成事業」（対象：小学4年生から中学3年生まで）を実施し、医療に係る負担を軽減（対象者数 R2:549,074名、R3:540,129名）</li> <li>幼児教育・保育の無償化の給付を受けていない、満3歳以上の幼児の保護者が負担する子育て施設等の利用料を支援（R3:延べ882名）</li> </ul>	 <p>兵庫県立こども病院</p>

### 【政策アウトカム指標】


	指標名	単位	区分	(参考)	計画期間	
				R1	R2	R3
1	推計値と合計特殊出生率との差	—	目標	—	0	0.03
			実績 (合計特殊出生率)	— (①1.41)	▲0.01 (1.40)	▲0.05 (1.36)
			評価	—	99.3%/B	96.5%/B
2	周産期母子センター・周産期医療協力病院の指定数(累計)	箇所	目標	—	31	31
			実績	31	31	30
			評価	—	100.0%/A	96.8%/B
3	院内助産・助産師外来の設置箇所数	箇所	目標	—	28	30
			実績	28	28	30
			評価	—	100.0%/A	100.0%/A
4	里親登録者数	人	目標	—	464	509
			実績	403	433	478人
			評価	—	93.3%/B	93.9%/B
5	児童のいる世帯のうち2人以上児童のいる世帯数割合	%	目標	—	—	—
			実績	54.3	—	—
			評価	—	—	—

## 項目3 子育て応援社会の形成

### (1) 放課後等の居場所づくり

事例	放課後児童クラブの充実など子どもたちの居場所づくり
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育所等通園児の小学校入学を機に保護者の仕事と育児の両立が困難となる「小1の壁」の解消を図るため、開設時間の延長等放課後児童クラブの機能を充実（R3時点累計開設数1,523箇所、R3年度利用児童数55,319人）</li> <li>・ 令和2年度から、同クラブへのマスクや消毒液等の配布、感染防止用の備品購入に関する支援のほか、利用児童等の入退出の管理や、オンラインを活用した会議、研修受講に必要なICT機器の導入等の環境整備に関する支援を実施（R3は28市町へ補助）</li> </ul>	 <p>放課後児童クラブの様子</p>

### (2) 子育て環境を見守る地域づくり

事例	子育て支援拠点の整備などすべての子育て家庭を対象とした支援
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 在宅で保育されている子どもや保護者が、保育所等でしつけや集団活動を学ぶ、「乳幼児子育て応援事業（0～2歳児）」や「わくわく保育所開設事業（3～5歳児）」を実施するなど、全ての子育て家庭を対象とした支援を実施</li> <li>・ 地域において子育て親子の交流等を促進する子育て支援拠点を設置し、支援機能の充実を図り、子どもの健やかな育ちを支援（地域子育て支援拠点数 R3 時点累計 353 箇所）</li> <li>・ 令和3年度より、子育ての悩みや不安を抱え在宅で育児をする世帯をより積極的に支援するため、電話・LINE相談や、必要に応じて専門職による相談を実施（R3 相談件数 138 件）</li> </ul>	 <p>ひょうご子育て相談</p>

### 【政策アウトカム指標】

指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間	
				R2	R3
1 保育所・認定こども園等定員数（累計）	人	目標	—	115,000	118,000
		実績	115,268	119,108	121,964
		評価	—	103.6%/A	103.4%/A
2 保育士・保育教諭、幼稚園教諭数	人	目標	—	【保育士・保育教諭】 20,200 【幼稚園教諭】 4,096	【保育士・保育教諭】 20,900 【幼稚園教諭】 4,054
		実績	19,684 (保育士・保育教諭) 4,140 (幼稚園教諭)	【保育士・保育教諭】 20,688 【幼稚園教諭】 4,045	【保育士・保育教諭】 (R4.12月) 【幼稚園教諭】 3,969
		評価	—	【保育士・保育教諭】 102.4%/A 【幼稚園教諭】 98.8%/B	【保育士・保育教諭】 — 【幼稚園教諭】 97.9%/B
3 病児・病後児保育の不足量	人日	目標	—	需要均衡	需要均衡
		実績	▲20,570	▲60,779	▲65,698
		評価	—	—/A	—/A
4 夫の育児・家事分担率	分	目標	—	—	R7年度までに120分
		実績	Ⓒ85	—	(R4.9月)
		評価	—	—	—

## 戦略 4 自然増対策(健康長寿対策)(健康寿命延伸プログラム)

### 1 目標

- ①平均寿命と健康寿命の差を縮める
- ②運動を継続している人の割合を高める

### 2 達成状況

戦略指標	単位	区分	(参考) R1	計画期間	
				R2	R3
1 平均寿命と健康寿命の差	年齢差	目標	—	—	—
		実績	男性：1.48 女性：3.20	—	—
		評価	—	—	—
2 運動を継続している人の割合	%	目標	—	73.0	75.0
		実績	62.7	65.5	63.0
		評価	—	89.7%/C	84.0%/C

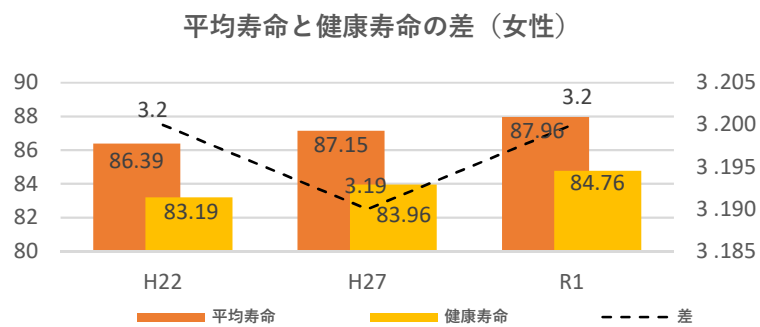
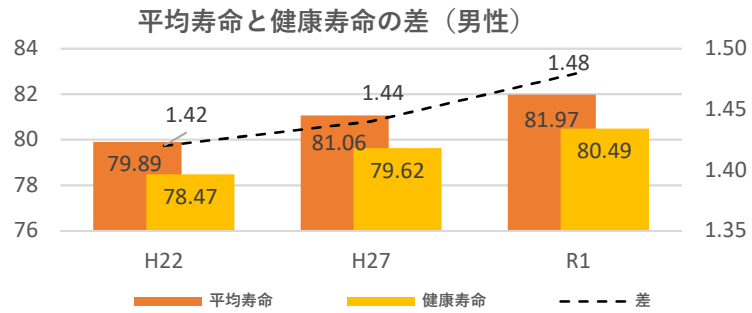
#### 〈状況分析〉

- ・平均寿命と健康寿命は男女いずれも延伸しているが、健康寿命の伸びを平均寿命が上回っており、今後も差の拡大が懸念される。
- ・運動を継続している人の割合は63.0%と昨年度より2.5ポイント低下した。長期的にみても横ばいが続いている。

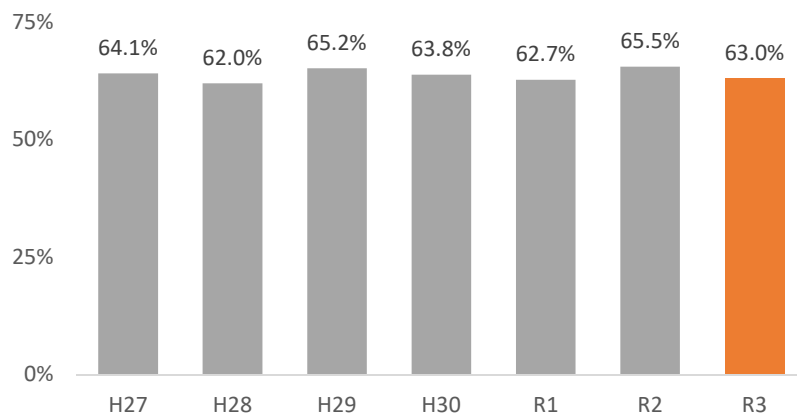
### 3 今後の取組方向性

- 生活習慣の改善や、がんや認知症の予防・早期発見を推進
- 元気高齢者の就業・学習機会の創出や、積極的な社会参加の促進

## 【健康寿命、平均寿命の推移（男女別）】



## 【運動を継続している人の割合の推移】



## 重点目標 6 生涯元気に活躍できる兵庫をつくる


重点指標		単位	区分	(目標) R1	計画期間	
					R2	R3
1	がんによる 75 歳未満の年齢調整死亡率	%	目標	—	—	R5 年度までに全国平均より 5%低い状態
			実績	全国平均よりも 3.1%低い状態 (国 70.0%、県 67.8)	全国平均よりも 0.9%低い状態 (国 69.6%、県 69.0)	(R5.3 月)
			評価	—	—	—
2	朝食を食べる人の割合	%	目標	—	—	R6 年度までに【20 歳代男性】57%以上【20 歳代女性】76%以上
			実績	【20歳代男性】㉗ 51.4% 【20歳代女性】㉗ 69.2%	【20 歳代男性】57.1% 【20 歳代女性】75.8%	【20 歳代男性】47.0% 【20 歳代女性】64.9%
			評価	—	—	—
3	認知症相談医療機関の登録数	箇所	目標	—	2,186 箇所	2,202 箇所
			実績	2,168 箇所	2,138 箇所	1,937 箇所
			評価	—	97.8%/B	87.9%/C
4	75 歳以上人口に占める要介護認定率	%	目標	—	—	R6 年度に 34.6%
			実績	34.3%	—	(R5.8 月)
			評価	—	—	—
5	高齢者(65 歳～74 歳)の有業率	%	目標	前年度を上回る	—	—
			実績	㉘32.7%	—	—
			評価	—	—	—

### 今後の取組方向


- がんによる年齢調整死亡率が H29 年時点から大きく変わっていないことから、健康診断等の受診を促進するとともに、生活習慣の改善促進による個人の主体的な取組を推進する。
- 高齢者になっても安心して暮らせるよう、市町と連携し、介護予防・重度化防止や認知症の予防、早期発見・早期治療の取組を推進するほか、ICT やロボットも活用し、地域で医療、介護、生活支援を総合的に提供する仕組みの構築を支援する。
- 年齢問わず高齢者がこれまで培った知識・スキル、経験を活かし、社会の担い手として活躍できるよう、多様な就業機会の確保や起業・創業の支援、生涯学習の機会提供を推進する。

## 項目1 健康づくりの推進

### (1) 疾病の予防・早期発見・早期治療の推進

事例	がん検診の推進など疾病の予防・早期発見・早期治療の推進
<ul style="list-style-type: none"> <li>本県の実情に応じた循環器病対策を総合的・計画的に推進するため「兵庫県循環器病対策推進計画」を令和4年3月に策定</li> <li>フレイル予防の重要性を認識し、予防・改善ができる県民を増やすため、「栄養（食事改善・口腔機能維持）、運動、社会参加」の3つのポイントに焦点をあてたフレイルチェックを実施（R2:393名、R3:6,564名）</li> </ul>	
	
フレイル予防教室の様子	

### (2) 生活習慣の改善促進

事例	生活習慣の改善促進
<ul style="list-style-type: none"> <li>県民の健康寿命の延伸を目指し、健康づくりに関心の低い働き盛り世代の取組を促進するため、従業員やその家族の健康づくりに積極的に取り組もうとする企業に「健康づくりチャレンジ企業」への登録を促進（R2:1,866社、R3:2,012社）</li> <li>登録企業に対しては、健康情報の提供やメンタルヘルス対策に関する産業カウンセラー等の専門人材の派遣、がん検診・歯科健診受診促進や健康づくり機器等の購入費の一部助成などの取組支援を実施（企業のメンタルヘルス等推進事業実績 R2:142社、R3:150社）</li> <li>スマホ、スマートウォッチを活用した一人暮らし高齢者等の体調管理や保健指導等を通じて高齢者の健康管理を支援するモデル事業を実施（R2モデル市町：姫路市、洲本市、三田市、南あわじ市、多可町、香美町、R3モデル市町：明石市、小野市、播磨町）</li> </ul>	
	
企業のメンタルヘルス等推進事業	

### 【政策アウトカム指標】

	指標名	単位	区分	(参考)	(計画期間)	
				R1	R2	R3
1	特定健診受診率	%	目標	—	50	52
			実績	51.7	(R4 中)	(R5 中)
			評価	—	—	—
2	特定保健指導受診率	%	目標	—	20	25
			実績	20.1	(R4 中)	(R5 中)
			評価	—	—	—
3	がん検診受診率	%	目標	—	—	(R6 に 50%)
			実績	胃がん：36.8% 肺がん：44.6% 大腸がん：42.5% 子宮頸がん：39.1% 乳がん：42.1%	—	—
			評価	—	—	—
4	健康づくりチャレンジ企業登録数	社	目標	—	1,500	1,500
			実績	1,681	1,866	2,012
			評価	—	124.4%/A	134.1%/A



## 項目2 高齢者等誰もが安心して暮らせる環境整備

### (1) 認知症対策の推進

事例	認知症予防・早期発見の推進
	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症の早期発見・早期受診を促すため、地域での認知症支援体制を強化。特定健診・後期高齢者健診等の機会に認知症チェックシートを活用した認知症予防健診を実施する市町に財政支援（R2:1市町、R3:1市町）</li> <li>県内各市町と協力し、認知症の身近な相談窓口として認知症相談センターを設置（令和4年3月末現在 254カ所）、同センター相談員や市町認知症支援担当者を対象に認知症の早期発見・早期対応研修を実施（R2:1回、R3:2回）</li> <li>令和3年9月から新たに、認知症と診断された方を「ひょうご認知症希望大使」として委嘱し、普及啓発活動や本人の意見を反映した施策の展開等を推進（R3:1人）</li> </ul>



大使委嘱式の様子  
片山副知事（左）とひょうご認知症希望大使の古屋氏（中央）、大使の活動パートナーの北村氏（右）

### (2) 高齢者の地域生活を支える体制の強化

事例	地域における介護予防・生活支援の取組支援
	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者が安心して暮らせる地域づくりの一環として、地域における介護予防・生活支援の取組を支援。住民主体の取組が、県内全域で展開されるよう、関係団体による介護予防・生活支援推進会議を開催。市町職員等を対象とした介護予防推進研修を実施。県内市町では、通いの場等での「いきいき百歳体操」等の住民主体の取組を推進</li> <li>フレイルハイリスク者に対する医療専門職によるアプローチを強化し、令和3年6月より、RoboWELL※を活用した筋力維持向上プログラムをモデル実施するなど、産官学の連携強化によるフレイル対策を推進（モデル地区:相生市等2市町）</li> </ul> <p>※RoboWELL：Robot等を活用した健康長寿を実現するための取組</p>



住民主体の通いの場の取組




RoboWELL 体操ガイドを全市町へ送付

### 【政策アウトカム指標】


	指標名	単位	区分	(参考)	(計画期間)	
				R1	R2	R3
1	認知症相談センターの相談件数	件	目標	—	12,400	12,600
			実績	12,205	11,843	11,600
			評価	—	95.5%/B	92.1%/B
2	居宅サービス利用者数	人	目標	—	—	—
			実績	502,357	—	—
			評価	—	—	—
3	在宅看取り率	%	目標	—	27	28.8
			実績	28.2	30.6	(R4.10月)
			評価	—	113.3%/A	—

## 項目3 元気高齢者の社会参加の促進


### (1) 元気高齢者の社会参加の促進

事例	地域相互見守りモデル事業など高齢者の地域活動参加への支援
<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣住民が世代を問わず日頃から助け合いのできる、地域コミュニティの構築に取り組む自治会や老人クラブ等を支援する地域相互見守りモデル事業を実施 (R2:8団体、R3:4団体に助成)</li> </ul>	
	
介護予防体操	

### (2) 定年退職後の高齢者の就業機会確保

事例	定年退職後の高齢者の就業機会確保
<ul style="list-style-type: none"> <li>・定年退職後等の高齢者の多様な就業機会を確保するため、県内34のシルバー人材センターを指導・育成する(公社)兵庫県シルバー人材センター協会の運営を支援 (会員数 R2:43,034、R3:41,262)</li> </ul>	
	
会員拡大セミナーの様子	

### (3) 高齢者の生涯学習支援

事例	定年退職後の高齢者の学習機会確保
<ul style="list-style-type: none"> <li>・いなみ野学園を中心に、高齢者の生涯学習の一環として、体系的な学習機会を提供(いなみ野学園:4年制高齢者大学講座・2年制大学院の開設、学生数約1,000名)</li> <li>・いなみ野学園、阪神シニアカレッジに、学習成果を地域活動へ繋げる支援を行う地域活動支援センターを設置。活動への相談対応や地域団体とのマッチング等を実施(学生や卒業生のボランティアグループによる傾聴活動やふれあい喫茶の運営等)</li> </ul>	
	
いなみ野学園講義風景	

#### 【政策アウトカム指標】

	指標名	単位	区分	(参考) R1	(計画期間)	
					R2	R3
1	地域相互見守りモデル事業助成団体数	団体	目標	—	49	54
			実績	39	47	51
			評価	—	95.9%/B	94.4%/B
2	シルバー人材センター事業就業実人員数	人	目標	—	35,000	35,000
			実績	34,232	31,997	31,104
			評価	—	91.4%/B	88.9%/C
3	コミュニティ・ビジネスの起業団体数	団体	目標	—	150	150
			実績	129	104	99
			評価	—	69.3%/D	66.0%/D
4	シニア起業家支援の新事業創出数	件	目標	—	40	40
			実績	40	36	(R4.9月)
			評価	—	90.0%/B	—